



本誌の主な内容  
第28回東京玉翠会  
総会事務

菊池寛杯争奪麻雀  
愛好会の歴史と告知

### 菊池寛杯争奪麻雀愛好会会長に井上榮氏、 運営ルールも決まる!



菊池寛杯争奪麻雀愛好会会長に井上栄 (S33卒) が就任した。菊池寛杯争奪麻雀大会を前に、菊池寛の遺族に大会名称の許可をいただき、井上会長の寄贈で「菊池寛杯」の立派な優勝カップが用意された。

第一回の大会日程は2006年12月2日、運営ルールが下記に決定した。

一回の大会日程は2006年12月2日、運営ルールが下記に決定した。

一、半荘4回戦持ち高制、3回戦まではランダムな組合せにて対戦、最終回(4回戦)は、3回戦までの得点順に、1、4位、5、8位等の組合せにて対戦。全4回戦合計上位に最優

終戦後決定する。

二、各半荘は、2万5千点持ち高、百点単位増減は、5倍6入、ウマとして、1位者に1万点、2位者に5千点、3位者に3千点、4位者に1万点与えるものとする。

三、3回戦までは各半荘1時間打ち切り(1時間を越えて新しい局を開始しない)、最終回は時間無制限。

なお、参加資格は、東京玉翠会会員およびその縁の皆さまとなっており、麻雀大会後、懇親会も開催される予定。

### 麻雀愛好会発足か?

2005年11月某日、当時の高松OBの溜まり場である銀座「八と本」にて神崎俊 (S52卒) と土田充 (S50卒) と高崎弘 (S48卒) にゴルフ場のセブティンクを依頼した。故日後、四人は勝本のゴルフ場に向かい、当初の予定通り麻雀卓を囲む。

池寛にあやかって麻雀大会をやろう」と言い出した土田に同意

### 第一回大会優勝者は 渡辺東京玉翠会会長!

2006年12月2日、新橋の麻雀クラブ「英」にて午後一時より第一回菊池寛杯争奪麻雀大会が開催された。

H16年卒の20歳からS30年卒の70歳までの24名が参加。同様の先着有地帯を確保しながら麻雀の腕を磨き、終了後近づくせとちみ理の「かむひめ」で懇親会が行なわれ、同窓生の親睦を深めた。

東京玉翠会の設  
渡辺会長 (S34卒・総得点10) が大差で大会最初の優勝者となった。

2位は辻馬 (S57卒・総得点7)  
3位は三山雅敏 (S34卒・総得点4)。  
第一回大会は渡

### 菊池寛杯争奪麻雀大会に向けて、 熱心な準備会!

2006年、菊池寛杯争奪麻雀愛好会の立ちあげが神田会メーリングリストで正式に告知された。以来、発起人メンバーの神崎俊 (S52卒)、高崎弘 (S48卒)、土田充 (S53卒) に、メッソシてかり出された小山宏記 (S50卒) と自ら加入を申し出した庄村敦子 (S54卒) を加え、大会に向けて何段階も準備会が開催されている。

2006年6月には総仕上げとして、庄村の提案で九十九里勝島強が光った。

浜に面して建つ麻雀博物館にて、奇しくも神崎らがゴルフ場で菊池寛杯麻雀大会構想を語った。2005年11月、庄村は麻雀博物館の会報にエッセイを刊するためにこの博物館を訪れていた。

「博物館の1階正面に飾られた200号の油絵「国士無双」には10人の麻雀文化人が描かれていた。卓を囲んでいる4人は、全員がイービーンであられる設備の手。」

ツボまかりしたのは、私たちの大先輩の菊池寛!

昭和初期、麻雀が爆発的にブームとなった。その火付け役が、菊池寛が社長をしていた文藝春秋社、同社が製造販売した国産第一号牌である「文藝春秋牌」が普及であった。菊池寛が採用した「菊池寛牌」も歴史を刻んでいた。(文/庄村敦子)

幹事団の神崎、高崎、庄村にゲストの入江 (S43卒) を加えたメンバーは、麻雀博物館で、麻雀の歴史や文化を学んだ後、大会運営として、麻雀必勝御守、麻雀



雀ストリップ、麻雀ペンギン、麻雀チョコを任入る。

一行は夕食までの時間、菊池寛先達を偲びながらひたすら麻雀の牌を眺めた。

夕方、庄村の案内で外房の巨大サザエの味噌や地魚を堪能した一行は、宿舎の麻雀博物館にて引き寄せ開扉。

遅れていた小山も合流し、夜がどんどん更け、熱心な検証作業と飲み放題の宴会が朝が来て、なんとアロケ土曜本夜も参加して有意義な台智となった。

### 第二回大会 優勝者は初参加、 S57年卒鳥居研志!

第二回大会優勝者は初参加、S57年卒の鳥居研志!

2007年7月28日、麻雀クラブ「柳銀座本店」にて午後一時より第二回菊池寛杯争奪麻雀大会が開催された。

H16年卒からS33年卒までの24名が参加。若さ2ハワーの麻雀で神し切った鳥居研志 (S57卒・総得点10) が初参加ながら見事優勝した。

2位は福し満貴2回も上がった幹事団の小山宏記 (S53卒・総得点8)。  
3位は前回4位の立山昌樹 (S38卒・総得点8)

### 第三回大会 渡辺会長V2達成!

2008年2月2日、第3回菊池寛杯争奪麻雀大会が開催され、32名が参加した。第一回大会優勝の渡辺東京玉翠会会長 (S34卒・総得点10) が高得点でV2を達成した。2位は中井健志 (S34卒・総得点7) で、34年卒が7位を独占した。

### 第四回大会 鳥居研志負けじとV2!

2008年7月28日、第4回菊池寛杯争奪麻雀大会が開催され、32名が参加した。第2回大会優勝の鳥居研志 (S57卒・総得点10) が敢て再挑戦。玉翠会会長 (S34卒・総得点10) に続き、高得点でV2を達成した。

### 第五回大会 大三元で大逆転!

2009年2月14日、バレンタインデーで賑わう銀座で麻雀が参加し、恒例の第5回菊池寛杯争奪麻雀大会が開催された。決勝の4回戦で役高・大三元を上かつた大村崇二郎 (S33卒・総得点17) が3番卓中 (手逆9・12位) からの大逆転で優勝した。

### 第六回大会優勝 S59卒柏木孝夫!

2009年7月28日、第6回菊池寛杯争奪麻雀大会が開催され、32名が参加した。第5回大会優勝の鳥居研志 (S57卒・総得点10) が敢て再挑戦。玉翠会会長 (S34卒・総得点10) に続き、高得点でV2を達成した。

### 第七回大会は S42卒小山正治!

2009年7月28日、第7回菊池寛杯争奪麻雀大会が開催され、32名が参加した。第6回大会優勝の鳥居研志 (S57卒・総得点10) が敢て再挑戦。玉翠会会長 (S34卒・総得点10) に続き、高得点でV2を達成した。

### 第8回菊池寛杯争奪麻雀大会参加者募集!

好評を博しております菊池寛杯争奪麻雀大会、第8回大会を開催致しますので、皆さまご参加下さい。

参加資格は、東京玉翠会会員およびその縁の皆さまです。女性も大勢参加して頂けます。

- 日時 2010年8月7日(土) 13:00-17:30 (現地集合: 12:50、大会終了後懇親会)
- 参加費 4000円 (半荘4回の場代、賞品代含む。飲食は自己負担。懇親会費は別)
- 申込締切 2010年7月23日(金)

会参加ご希望の方は、下記まで、ご連絡下さい。参加人数把握のため、なるべく、お早めにご連絡頂けますようお願い申し上げます。

連絡先 S52年卒 神崎 俊 t-kanzaki@pearlca.co.jp  
S53年卒 土田 充 tsuchida@muse.dti.ne.jp

●場所「麻雀クラブ 柳銀座本店」(中央区銀座 1-14-11 銀ビル2F)

最寄駅 有楽町線銀座一丁目駅 10番出口からすぐ H P : <http://www.mj-yanagi.com/store.html>

### 栄冠は誰の手に?